

会記

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 植物地理・分類研究会, The Society for the Study of Phytogeography and Taxonomy, メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00055976

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



く、また、森林限界付近のものについては風上側斜面の方が風下側斜面に比べて比の値が小さい。このため、この段階ですでに森林限界付近のダケカンバの樹形形成に対して北西季節風を主とする風の影響は現れている。それに対して、胸高直径 10 cm 以上の個体については森林限界、針葉樹林帯共通して同一直径階内での樹高/胸高直径比の値は揃っている (Fig. 1, 2)。これは、個体の生長が進むに連れて樹種本来の樹形形成が進んで樹形が類似してきて、各個体が置かれたミクロな環境の違いは樹形に対して大きな影響を与えないためと思われる。しかし、さきに述べたように、森林限界付近のものは樹形形成に対する風の影響が著しい。

森林限界付近は風の影響のほかにも様々な環境条件が樹木の生育にとって不適であり、そこに生育している樹木の生長量は全体に大きく低下する。今回調査したダケカンバでは、様々な環境条件の中でも、風の影響が顕著に樹形に現れていることが明らかとなった。このような風の影響が、積雪の不均衡分布と相まって森林限界付近のダケカンバの林分構造や更新にも大きな影響を与えていることが予想される。今後はそうした面からの検討も必要であろう。

摘 要

本州中部地方の 3 山岳で、森林限界付近に生育するダケカンバの樹高と胸高直径の関係を調べた。樹高/胸高直径比の値は針葉樹林帯のものに比べて小さく、全体に“ずんぐりとした”樹形となっていた。また、冬季北西季節風に対して風上側斜面と風下側斜面を比べた場合、風上側のダケカンバの方が樹高/胸高直径比が小さかった。これらのことは、森林限界付近のダケカンバの樹形形成に対して、風、特に冬季の北西季節風が影響を及ぼしていることを示している。

引用文献

ASHBY, W.C., HENDRICKS, T.R., KOLAR, C.A. and PHARES, R.E. 1979. Effects of shaking and

shading on growth of three hardwood species. For. Sci. 25: 212-216.

GRACE, J. 1977. Plant response to wind. 204 pp. Academic Press, New York.

JACOBS, M.R. 1954. The effect of wind sway on the form and development of *Pinus radiata*. Aust. J. Bot. 2: 35-51.

JAFFE, M.J. 1980. Morphogenetic responses of plants to mechanical stimuli or stress. Bio-Science 30: 239-243.

甲斐啓子. 1977. 偏形樹から推定した卓越風向による本州山地の地理区分. 地理評 50: 45-54.

LARSON, P.R. 1963. Stem form development of forest trees. For. Sci. Monogr. 5: 1-42.

—. 1965. Stem forms of young *Larix* as influenced by wind and pruning. For. Sci. 11: 412-424.

LAWTON, R.O. 1982. Winds stress and elfin stature in a montane rain forest tree: an adaptive explanation. Amer. J. Bot. 69: 1224-1230.

NEEL, P.L. and HARRIS, R.W. 1971. Motion induced inhibition of elongation and induction of dormancy in *Liquidambar*. Science 173: 58-60.

沖津 進・並川寛司・春木雅寛・伊藤浩司. 1982. エゾマツ優占型森林群落の量的特徴とその成立機構. 「環境庁委託十勝川源流部原生自然環境保全地域調査報告書」, 189-205. 日本自然保護協会, 東京.

酒井 昭. 1982. 植物の耐凍性と寒冷適応—冬の生理・生態学—. 469pp. 学会出版センター, 東京.

吉野正敏. 1968. 気候学. 258pp. 地人書院, 東京.

YOSHINO, M.M. 1973. Studies on wind-shaped trees: their classification, distribution and significance as a climatic indicator. Climatol. Notes. Hosei Univ., 12: 1-52.

(Received Feb. 13, 1989)

会 記

植物地理・分類研究会 1989 年度総会の報告

1989 年度の総会が予定通り 1989 年 6 月 3 日に金沢大学教養部で行われた。総会に引続き河野昭一氏の「北米の植物相とアジア要素」と清水建美氏の「植物の分類と根系の形態」と題するふんだんにスライドや図を使った講演があり、夕刻は大学近くの料理屋で和やかに懇親会を行った。翌 4 日は早朝から車に分乗して能登半島は先端、猿山岬付近でのエクスカッションを行い、好天のもと日本海側特有の暖帯要素と冷温帯要素が入り混った植物相を観察し、親睦を深め、事故もなく成功に終わった。

この総会では前年度の会務及び会計報告が承認され、次項にあるように次年度総会を富山で開くことが決まったほか、次の点について次回総会までに検討することが決まった。この点についてご意見のある方は編集委員代表清水建美まで文書あるいは口頭で頂きたい。

検討事項：植物地理・分類研究会の機構整備について

本研究はこれまで、どちらかという雑誌発行を主目的としてきたから、今まで編集委員代表が研究会を代表し、会務の全てにわたる運営を編集委員が行ってきた。しかし、研究会を代表するのが雑誌の編集の責任者であるのは対外的に理解されにくいこと、会誌発行のみならず、シンポジウムや講演会などの開催、総会の運営、会員の入退会事務など、本来の編集委員としての仕事の他に多くの仕事があること、従って、現状のままでは編集委員に負担が大きくなる研究発表会などを開催するのはむずかしいこと、などの理由により1990年度の総会までに、諸学会に準じたかたちに研究会の機構を整備し、それにとまって諸規定を制定することを目指すこととした。これらは次回総会にはかる予定である。

植物地理・分類研究会 1990年度総会の案内

日時：1990年6月2日(出)

午後0時30分 受付開始

午後1時より総会 その後 講演会(17:00まで)

講演者と題目：綿野泰行氏(金沢大学) — アイソザイム分析と系統分類学

山田恭司氏(富山大学) — DNA分析と系統分類学

森田竜義氏(新潟大学) — 世界のタンポポ、日本のタンポポ

場所：富山市科学文化センター(〒939 富山市西中野町1-8-31 ☎0764-91-2123) 富山駅より9番または10番のバスで西中野口下車、正面

懇親会は民宿瑞峯(ずいほう)(富山県東砺波郡利賀村上百瀬 ☎0763-68-2458)で午後7時より行います。会費は宿泊と食事こみで1万円の予定。懇親会場へは科学文化センターから、車に分乗して行きます。

イクスカーションは、太田道人氏(富山市科学文化センター)の案内で6月3日金剛堂山(1638m)で行います。(宿から車ですこし行ってから登山します。希望により、昼過ぎに帰路につけるコースも設けます。)

参加申し込み：懇親会とイクスカーションは人数のことがありますので、4月末日までに申し込んで下さい。

申し込みおよび連絡先：〒930 富山市五福3190 富山大学理学部生物学教室 鳴橋直弘 ☎0764-41-1271(内線2344)

バックナンバーと本会出版物のお知らせ

以下のバックナンバーと本会出版物に残部があります。1979年の第27巻からそれまでのA5判年4回発行からB5判年2回発行に変わりすでに10巻を数えています。これを機会に旧判の欠号の補充と新判のラインアップをおすすめします。ご希望の方は葉書か手紙にて下記までお申し込みくだされば本と請求書をお送り致します(送料当会負担)。なお、残部が少ないものについてはお申し込み頂いてもご希望に沿いかねる事がありますので、その節はご勘弁ください。

バックナンバー(括弧内は残部数と1冊の価格)

1巻4号(13冊, 400円), 5巻1号(1冊, 400円), 15巻1~3合併号(4冊, 1,200円), 同4号(12冊, 400円), 16巻3号(2冊, 400円), 18巻1号(2冊, 500円), 同2号(8冊, 500円), 同3, 4合併号(29冊, 800円), 19巻4号(7冊), 20巻1号(14冊), 同2号(1冊), 同3号(1冊), 21巻2号(6冊), 同3号(4冊), 22巻1号(7冊), 同2号(7冊), 同3号(7冊), 同4号(9冊), 23巻2号(多数), 3号(多数, 以上各号500円)。24巻以降は多数有ります。24巻から26巻は各号500円, 但し100号記念号(25巻4号)は2,000円です。27巻以降はB5判で年間2冊で, 27, 28巻は各号1,200円, 29巻以降は各号1,800円です。

本会出版物

正宗巖敬・里見信生編：小豆島の植物 1,200円；桑原義晴：日本イネ科植物生態図譜 第三巻1,800円, 第四巻2,000円(第一巻, 第二巻は売り切れました)；石川県教育委員会：手取川流域の手取統珪化木産地調査報告書 8,500円；植物地理・分類研究会：植物地理・分類研究(北陸の植物)索引 2,000円。

申し込み先：〒920 金沢市丸の内1-1 金沢大学理学部植物分類地理学講座内 植物地理・分類研究会

担当：綿野泰行 TEL 0762-62-4281 内線556

新入会員 (1989年4月~1989年10月)

- 4月26日 勝山 輝男 〒227 横浜市緑区長津田1-22-1213
 5月10日 笹川 通博 〒950 新潟市新石山3-10-20 ハイソロイヤル202号
 5月26日 出口 晴美 〒920 金沢市暁町9-12 暁町ハイソ C-17
 6月12日 石月 勇治 〒191 日野市大坂上4-20-46
 6月27日 小藤累美子 〒920 金沢市本多町1-4-15 本多町ハウス1号

退会会員 (1989年4月~1989年10月)

- 桑原 義晴 〒002 札幌市北区拓北7条1-1-15
 真砂 久哉 〒646 田辺市中屋敷町57-1 (死去)
 鈴木 由告 〒197 秋川市二宮779-1 (死去)

住所変更および訂正 (1989年5月~1989年10月)

- 秋山 忍 〒167 杉並区下井草3-20-13 → 〒112 文京区白山3-7-1 東京大学理学部付属植物園
 安溪 貴子 〒753 山口市湯田温泉6丁目8-29-403 → 〒753 山口市平井873-3
 土水 浩史 〒630 奈良市高畑町 奈良教育大生物 → 〒641 和歌山市秋葉町4-20-302
 細井幸兵衛 〒030 青森市新田字扇田167-4 → 〒038 青森市新城平岡252-90 みどり造園
 福岡 辰彦 〒922 加賀市大聖寺春日町ヌ1-69 みなづき荘10号室 → 〒923 小松市今江町6-412 ホワイト
 ハイソ203号室
 唐沢 耕司 〒731-51 広島市佐伯区折出17-4 → 〒904-22 具志川市安慶名532-2-205
 片平 高男 〒891-51 鹿児島県鹿児島郡桜島町赤水1085 → 〒893-12 鹿児島県肝属郡高山町新富4629-6
 加藤 恵一 〒920 金沢市小橋町10-16 浅水荘58号 → 〒440 豊橋市南栄町字空池123-1 (B-41)
 加藤 君雄 〒010 秋田市下北手桜字守沢 秋田経済法科大学生物学研究室 → 〒010 秋田市泉上ノ町82-2
 菅野 昭 〒981-36 黒川郡大和町吉岡字志田町17-202 → 〒981 仙台市青葉区堤通雨宮町6-3-503
 小林 元男 〒441-17 愛知県南設楽郡鳳来町下吉田字田中137 → 〒442 豊川市国府岡本43-33
 百原 新 〒558 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学理学部生物学教室 → 〒280 千葉県青葉町955-2
 千葉県立中央博物館
 萩葉 樹徳 〒168 杉並区上高井戸1-30-43 松本方 → 〒565 豊中市上新田3-5-26-105
 大久保嘉雄 〒913 福井県坂井郡三国町緑ヶ丘2-1-3 福井県立三国高等学校 → 〒910 福井市御幸2丁目
 25-8 福井県立高志高等学校
 鈴木 一郎 〒437-14 静岡県小笠郡大東町小貫567 → 〒439 静岡県小笠郡菊川町東横地1283-1
 橘 ヒサ子 〒070 旭川市春光町1区1条 北海道教育大学公務員宿舎28号 → 〒070 旭川市春光町2区1条
 合同宿舎501-31
 竹原 明秀 〒980 仙台市荒巻字青葉 東北大学理学部生物学教室 → 〒020 盛岡市上田3丁目 岩手大学人
 文社会科学部生物学教室
 谷川 智彦 〒920 金沢市長町3-1-10 白樺荘7号 → 〒911 勝山市立川町1-3-14 北陸製薬男子寮310号室
 等々力政彦 〒930 富山市寺町2639-4 富山大学新樹寮 → 〒930 富山市下野新3642-2 川上荘
 富永 達 〒649-36 和歌山県西牟婁郡串本町須江 京都大学農学部付属亜熱帯植物実験所 → 〒399-45 長
 野県上伊那郡南箕輪村8304 信州大学農学部付属農場
 山中 修一 〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学理学部植物学教室 → 〒277 柏市ひばりが丘7-11
 ハイソ柏101
 矢野 悟道 〒662 西宮市岡田山4-1 神戸女学院大学生物学教室 → 〒669-13 三田市あかしあ台5-3-1